

ユウスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> Baroni var. <i>vespertina</i> (H.Hara) M.Hotta	準絶滅危惧
		ユリ科
選定理由	かつて見られた多くの生育地が急激に減少し、個体数も大きく減少しており、更に減少すれば個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。	写真(高橋弘)
形態の特徴	根出葉は線形、長さ40-60cm、幅5-15mm。花期は7-8月。花茎は高さ100-150cm。花序は軸が細く、一般に長く伸び、円錐花序に似た形で枝を出す。花は夕刻に開き、翌朝萎れる。花被片は黄色、長さ9-10cm、幅10-12mm。小さい花蕾は乾燥すると黒くなる。	
生態的特徴	草原に生育する多年草。花期は7-8月。	
分布状況	朝鮮にも分布し、日本では本州、四国、九州にある。岐阜県では県北のやや南寄りと県南の東部に多く、県南の中部と西部にも少し見られる。標高は1500m以下。	
減少要因	開発による草原の減少と採取。草原に火入れや草刈りをしなくなったことも一因である。	
保全対策	生育地の保全と草原の維持、及び採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘